

常勤役員による担い手訪問とJA自己改革の発信

——新潟県JA柏崎の取組み——

取締役調査第一部長 内田多喜生

JA柏崎は、常勤役員による担い手への訪問活動(以下「役員訪問」)を2017年度に実施した。その目的は、JA自己改革の基本目標の一つである「農業者の所得増大」に向けたJAの取組みを伝えるとともに、担い手から率直な意見を聴くことである。役員訪問の概要について述べたうえで、その実施のポイントや工夫をまとめる。

1 TACの定期訪問先を常勤役員が訪問し、JA自己改革をテーマに対話

役員訪問は、常勤役員とTACの班構成により、17年6月から18年2月にかけて実施された。訪問の対象となったのは、主としてTACの定期訪問先である認定農業者や農業法人、生産組合役員など170ほどの担い手である。

訪問時には、常勤役員から自己改革の内容や進捗状況について説明が行われた後に、担い手との意見交換の時間が持たれた。役員訪問の実施前の段階では、1先あたりの面談時間を1時間程度と想定していたが、実際には平均して1時間半を要し、2時間を超える先もあった。担い手からは「わざわざ役員の方に来ていただいて」といったコメントも多く、充実した対話が行われた。

2 TACによる入念な事前説明が役員訪問の効果的な実施に貢献

役員訪問の際、訪問先が不在であったり、急きょキャンセルされたりするケースはほと

んど生じなかった。その背景には、TACによる事前説明や日程調整が挙げられる。

TACは事前に、役員訪問時に話し合われるポイントがまとめられた資料を持参し、役員訪問の主旨を説明したうえで訪問日程の調整を行った。なお、日程調整にあたっては、自己改革の主管部署である管理部が常勤役員のスケジュールを把握しており、さらに管理部とTACの間で、スケジュールの共有が行われた。

また、TACによる事前説明や日程調整は、電話やポスティングではなく、必ず訪問先のもとへ出向いて行われたこともポイントである。出向くことで、JAが役員訪問を重要な取組みとして実施することを、担い手にあらかじめ認識してもらう効果もあったとのことである。

3 常勤役員による自己改革の説明の際には自己改革工程表を活用

常勤役員が自己改革の説明を行う際に主として使用されたのは、自己改革工程表(以下「工程表」)である。

工程表には具体的な取組項目が掲載され、項目ごとに各年度の数値目標が示されている。また、半期ごとに目標の達成状況が「振り返り」としてまとめられ、JAのウェブサイトにも掲載されている。^(注2)

工程表は1ページにおさめられており、自己改革の全体像や具体的な取組みが分かりやすくまとめられている。こうしたコンパクトな資料は、自己改革について常勤役員が担い

手に説明する際に有用であった。工程表は、自己改革の進捗管理だけでなく、自己改革の取組みを発信する際にも効果的なツールとなることが示唆される。

4 担い手からの要望にはフォロー訪問や広報誌を通じて丁寧に対応

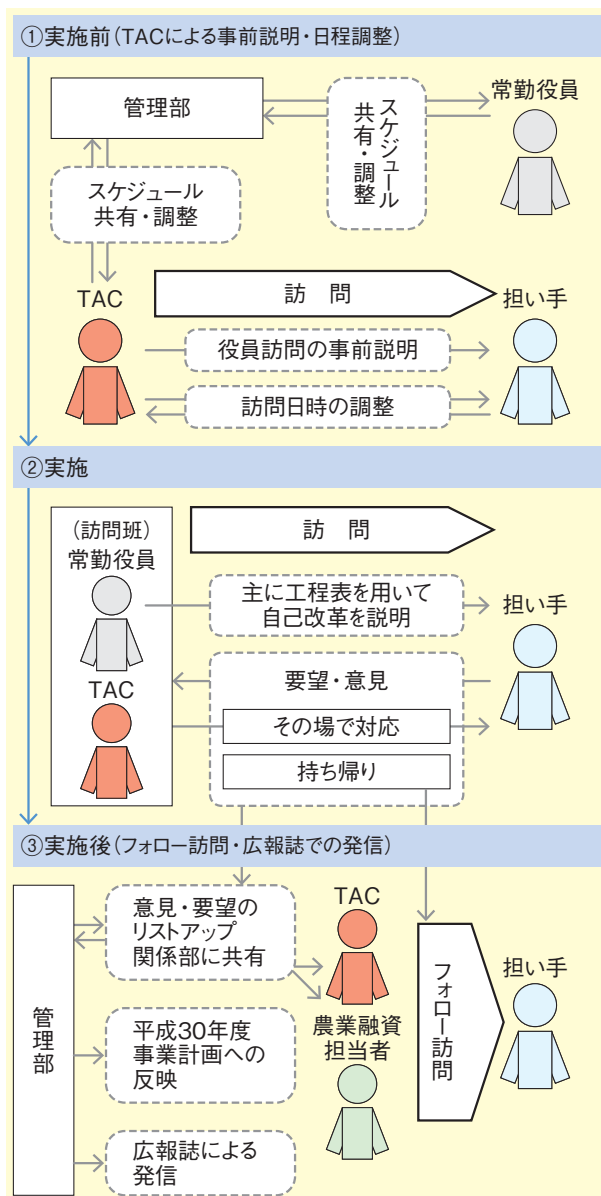
担い手から寄せられた要望は関係部に共有されるとともに、要望の内容に応じて融資担当者やTACによるフォロー訪問が行われた。フォロー訪問は、担い手からの信頼を高めるだけでなく、事業推進にもつながった。要望のなかには肥料価格に関するものも多く、フォロー訪問の際に、ニーズに応じた肥料品目を提示することで、予約注文の拡大につながったケースもあった。

また、広報誌「もっと！JA」2018年6月号には、役員訪問の際に寄せられた主たる要望と、それらに対するJAの回答を掲載した。^(注3) 広報誌によるフィードバックは、「農業者の所得増大」に向けた取組みを、担い手のみならず、組合員全体に向けて効果的に発信している点で特徴的である。

さらに、担い手の要望を踏まえてJAの平成30年度事業計画を作成し、担い手のニーズに対応した取組みを一層推進している。

- (注1) JA柏崎にはTACが4名おり、それぞれのTACの担当エリアごとに、理事や経営管理委員とTACが班をつくり訪問を行った。
- (注2) JA柏崎の工程表や「振り返り」は下記URLのウェブサイトに掲載されている。
http://www.ja-kasiwazaki.or.jp/introduction/index.php#link_08
- (注3) 広報誌「もっと！JA」2018年6月号は下記URLから参照することができる。
<http://www.ja-kasiwazaki.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/05/76528bc27de74aeb6ea673d4df3c0ad.pdf>

第1図 役員訪問のフロー



資料 聞き取り調査により作成

5 JA柏崎による役員訪問のポイント

JA柏崎による役員訪問が円滑かつ効果的に実施された背景には、TACによる尽力や、工程表の有効活用が挙げられる。また、担い手との対話内容を広報誌で発信するなど、担い手との対話内容をもとに、自己改革の取組みを組合員に向け効果的に発信している。JA柏崎の取組みは、担い手との関係強化や自己改革の発信を行ううえで、参考になる事例と言えよう。

(うちだ たきお)